

# 株主の みなさまへ

## 第43期 中間報告書

2022年4月1日～2022年9月30日

### contents

- 1 社長メッセージ、中期経営計画
- 2 トピックス
- 3 連結業績ハイライト



### ごあいさつ

株主の皆様には、日頃より当社グループに対し格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当社グループは、創業以来「人を育て 人を活かす」を理念に掲げ、日本のものづくり産業を支える人材サービスを提供してまいりました。時代は今、デジタル技術革新によりさまざまな社会課題を解決していくSociety 5.0に突入しております。当社グループは、自らを大きく変革し、時代のニーズに応える人材会社を目指してまいります。ここに当社グループの第43期中間報告書(2022年4月1日から2022年9月30日まで)をお届けいたします。

代表取締役社長執行役員兼CEO 清水 竜一

## アンケートにご協力ください

抽選で30名様にAmazonギフト券2,000円分プレゼント!

当社では、株主の皆様への情報開示の充実に努め、当社の経営をより一層ご理解いただけるIR活動を行っていきたくと考えています。つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、下記アンケートサイトにアクセスしていただき、アンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただきました内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的には使用いたしません。

アンケート実施期間 2023年1月31日まで

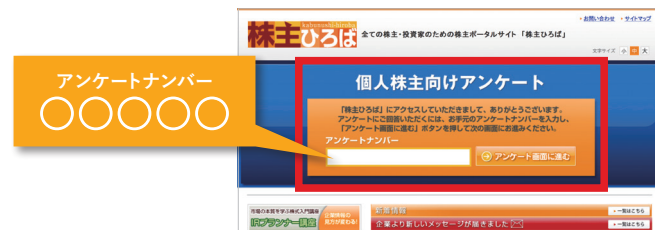
- 1 Yahoo!やGoogleなどからアンケートサイトを呼び出してください。

株主ひろば

検索

URL <https://kabuhiro.jp/>

- 2 アンケートサイト画面中央の入力ボックスに、アンケートナンバーを入力して回答画面にお進みください。



このアンケートは、諸費用（郵便料金など）の削減と集計作業の迅速化を目的として、株式会社アイ・アール ジャパン（IR支援会社）が運営するWebアンケートシステム「株主ひろば」を利用して実施しています。

[ご回答の操作方法等のお問い合わせ先]

株主ひろば 株式会社アイ・アール ジャパン  
株主ひろば事務局 E-mail: [kabuhiro@irjapan.co.jp](mailto:kabuhiro@irjapan.co.jp)  
Amazon、Amazon.co.jpおよびそれらのロゴはAmazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

詳しくは中面へ

## 社長メッセージ

— 新中期経営計画を策定 —

事業環境変化に応じて経営計画を見直し。  
事業ポートフォリオ戦略を要に、  
より大きな成長を目指します。

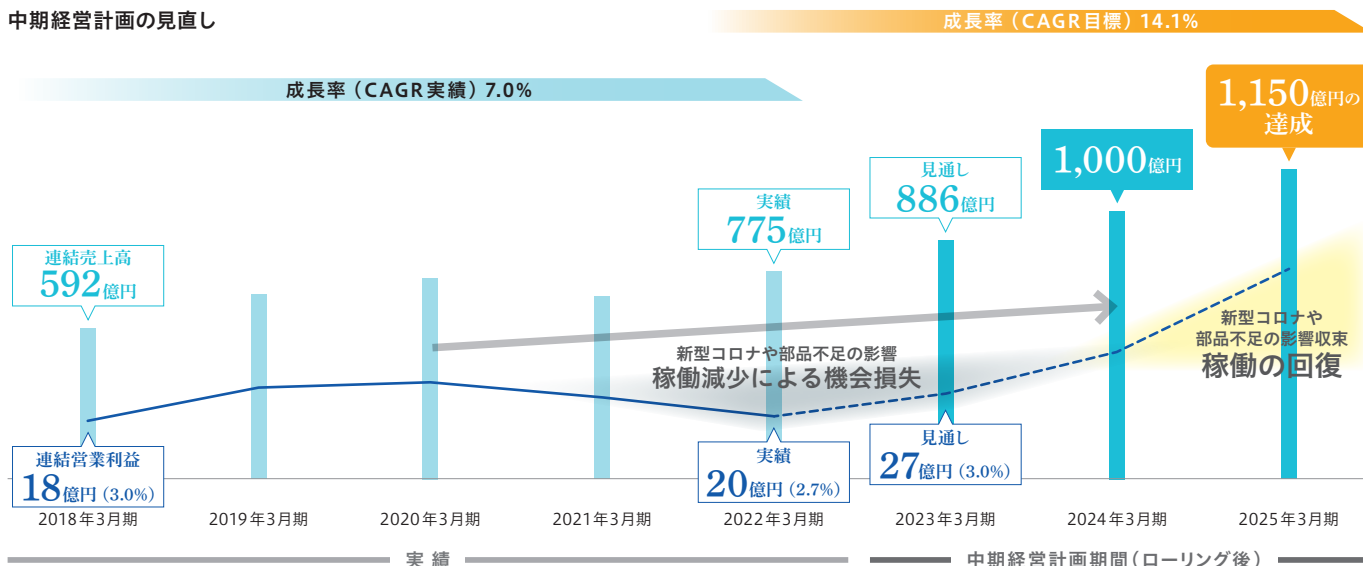


### 2023年3月期第2四半期の業績について

当第2四半期は、お客様の旺盛な人材ニーズに応えるとともに、テレビCMなどのプロモーション強化等もあり、在籍人数は15,730名(単体・前期末比785名増)と順調に増加いたしました。自動車関連においては、緩やかに稼働は改善しており、自動車関連の売上高は16,981百万円(前年同期比15.9%増)となりました。電子デバイス関連においては、PCや通信機

器関連の部品需要は減少しているものの、半導体需要から生産は高止まりしており、電子デバイス関連の売上高は12,285百万円(前年同期比17.2%増)となりました。これらの結果、当社グループの売上高は、43,162百万円(前年同期比17.6%増)となりました。一方、利益面については、在籍人数の増加はあったものの、部品不足等による稼働時間減少の影響等もあり、営業利益は510百万円(前年同期比38.1%減)となりました。

### 中期経営計画の見直し



## 新中期経営計画発表の背景

2021年5月発表の中期経営計画は2022年3月期からの3か年計画としていましたが、2022年3月期の売上高は計画を上回ったものの、営業利益は期初計画を下回る結果となりました。これを受け、当社では事業環境や市場機会の再整理と見直しを行い、2022年8月に、事業ポートフォリオ戦略及び基盤強化戦略を中心とした新たな中期経営計画を発表しました。経営目標については1年後ろ倒しし、2025年3月期売上1,150億円に必達するよう取り組んでいきます。

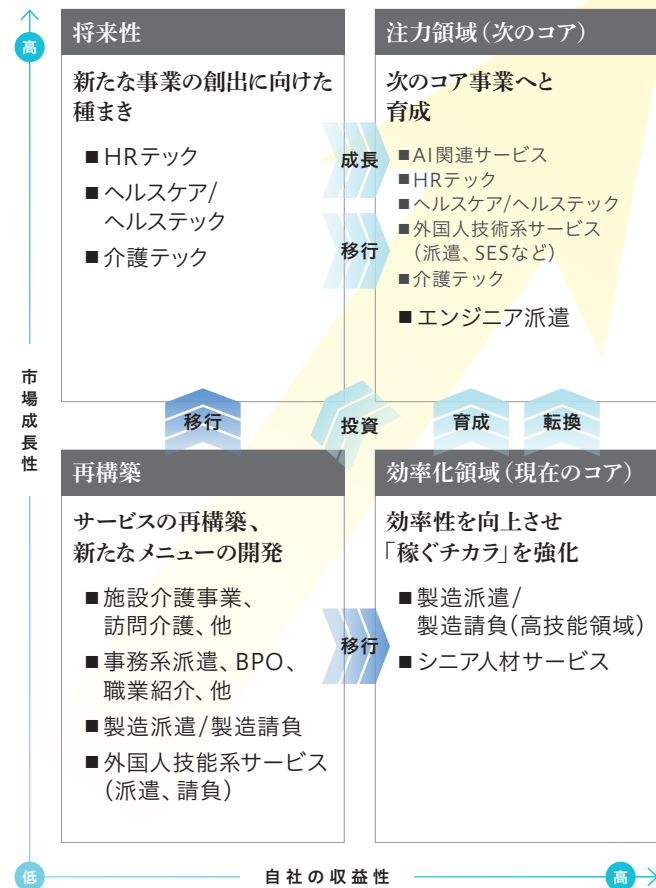
## 事業ポートフォリオ戦略

今後の事業環境と市場機会を考えた場合、労働力人口は減少するものの、それによって人材流動化は加速し、人材市場の機会は拡大すると考えています。事業ポートフォリオについては、現在のコアである「効率化領域」から、さらに事業を高度化して人材を育成し、中期的に収益拡大が認められる次世代のコアである「注力領域」へ挑戦します。今後の市場動向を見据えて、成長領域における専門人材を育成していくことが次の成長につながると考えています。

## 変化するモノづくりに対応したサービスの提供

製造業は単にハードを作ってお客さまに売るという時代から大きく変化を遂げています。そのような中で、私たちのビジネスモデルも転換していかなければなりません。これまでのような有形のモノの提供に加え、サービスあるいは経験によって、お客さまの満足度を上げていくモデルに挑戦します。それにより一層お客さまの信頼獲得を実現したいと考えています。

## 事業ポートフォリオ戦略



これらの戦略に基づいて、人的資本経営の実践、人材流動化への対応、業務のデジタル化によるビジネストランスフォーメーションの実現、ガバナンスの強化の4つを軸に事業基盤の強化に取り組んでいきます。日総グループのさらなる成長にご期待いただきたいと思います。



<https://www.nisso.co.jp/ir/>

日総工業 IR

検索

# トピックス

## TOPICS

### 業務提携

## 8月 | ドクターズ株式会社との資本業務提携について

オンライン医療時代に向けた医療DX領域の新事業展開に向けて、ドクターズ株式会社との間で、資本参加を含む業務提携の基本合意契約を締結いたしました。ドクターズ株式会社は、医師の力×ITで「DX時代の新しいデジタルヘルスケアサービスの構築・流通・販売を支援する」ことをミッションとして、専門医（600名超）とともに現場の医療者目線で「デジタルヘルスプラットフォーム」の構築及び推進を行っております。両社の強みとノウハウを活かし、デジタルヘルスを活用した新たな「医・人・働」サービスの開発を目指してまいります。

### 業務提携の一例

- ヘルスケア／ヘルステック領域における新たな「医・人・働」サービスの開発
- 医療DX人材の育成を中心とした新サービスの開発
- その他企業価値向上に資すると、双方が協議した内容



<https://doctors-inc.jp/>

## TOPICS

### 人材育成

## 10月 | 熊本に研修センターの開所計画を発表

当社は8か所の研修所を展開しており、その中でも日総テクニカルセンター東日本（宮城県栗原市）と中日本（長野県岡谷市）では、半導体製造装置の実機を導入し、ニーズが拡大している半導体などの分野で設備保全ができる人材を育成するため、さまざまな教育プログラムを実施しております。

全国で9か所目となる予定の熊本の研修施設は、今までの研修施設で培ったノウハウをさらに高めた研修設備と研修プログラムの運用を予定し、人材育成の質とスピードの両面から半導体メーカーの人材不足に貢献してまいります。



<https://www.nisso.co.jp/news/>

## TOPICS

### 情報開示

## 11月 | 日総グループ サステナビリティ報告書2022を発刊



当社では、2020年より「CSR報告書」を発刊してまいりました。社会や環境をはじめとしたサステナビリティに関する情報開示の要請が高まりつつあることを受け、今年から「サステナビリティ報告書」に名称を改め、日総グループが社会の一員として果たすべき責任に対する考え方や活動に関わる情報を充実いたしました。これからも、サステナビリティ報告書を通じ、日総グループの企業活動を発信していくことで、ステークホルダーの皆さまとの対話を深め、企業価値の向上に努めてまいります。

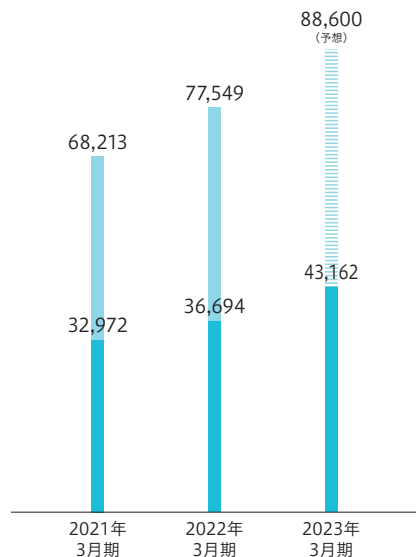


[https://www.nisso.co.jp/ir/esg/esg\\_13.html](https://www.nisso.co.jp/ir/esg/esg_13.html)

# 連結業績ハイライト

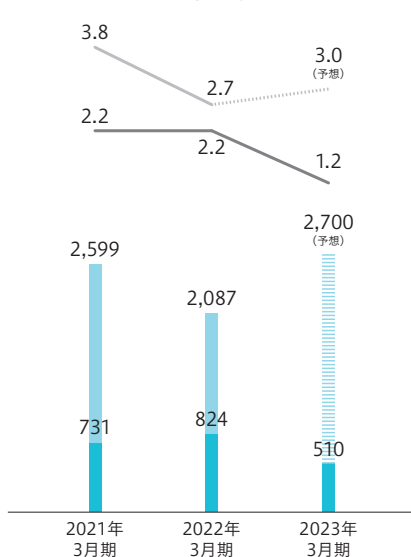
売上高 (百万円)

■ 第2四半期 ■ 通期



営業利益 (百万円) ■ 第2四半期 ■ 通期

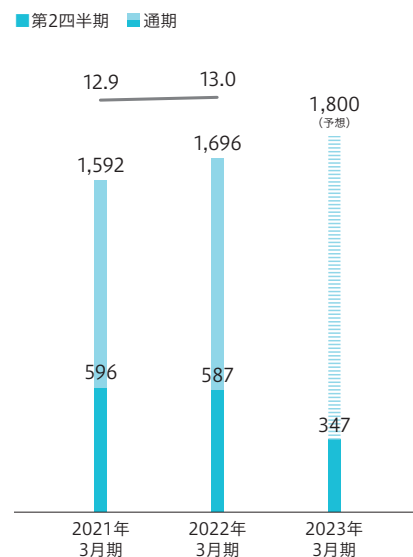
／ 営業利益率 (%) — 第2四半期 — 通期



親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益 (百万円)

／ ROE<sup>※</sup> (%)

※自己資本利益率



[https://www.nisso.co.jp/ir/finance/finance\\_03.html](https://www.nisso.co.jp/ir/finance/finance_03.html)

日総工産 業績ハイライト

検索

## 株主還元について

配当金



2023年3月期

16円 (予想)

当社は、株主に対する利益還元と企業価値の向上を経営の重要課題と位置付けており、連結配当性向30%以上を目安に株主の皆さまへ安定した利益還元を継続することを基本方針としております。

株主優待について



日総工産  
プレミアム優待倶楽部の  
優待ポイントを進呈

- 貯まったポイントは5,000種類以上の優待商品と交換できます。
- 2022年以降、毎年3月末日の株主名簿に、300株以上保有する株主さまとして記載されることを進呈条件としております。

株主の皆さまの日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、中長期的に保有していただける株主さまの増加を目的として、株主優待制度を設けております。



<https://nisso.premium-yutaiclub.jp/>

日総工産 株主優待

検索

# 会社概要

(2022年9月30日現在)

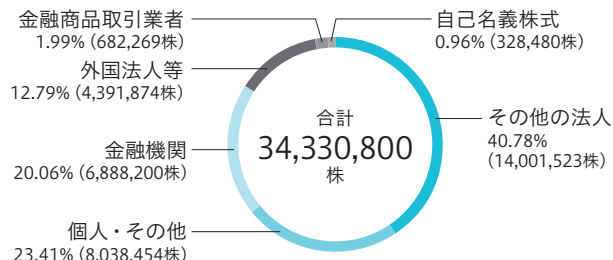
商号	日総工業株式会社 (英文社名: NISSO CORPORATION)
上場取引所	東京証券取引所プライム市場 (証券コード6569)
創業	1971年2月3日
本社所在地	〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜一丁目4番1号 日総工業新横浜ビル
連結従業員数	2,201名 (301名) 臨時雇用者数(パートタイマー)は、当該連結累計期間の平均人員数を( )外数で記載しております。
製造スタッフ・派遣スタッフ	16,221名 (期中平均)
資本金	2,016百万円
主たる事業	製造系人材サービス (製造派遣、製造請負、職業紹介等)
役員	代表取締役 社長執行役員兼CEO 清水 竜一 取締役(社外) 門澤 慎 取締役(社外) 大野 美樹 常勤監査役(社外) 石田 章 監査役(社外) 長谷川 隆太 監査役(社外) 坂野 英雄

# 株式の状況

(2022年9月30日現在)

発行可能株式総数	102,400,000株
発行済株式総数	34,330,800株
株主数	4,784名

## 所有者別分布状況



# 株主メモ

株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問合せ先	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝休日を除く9:00~17:00)



## 当社ブランドムービー『夢を、一緒に』が 映文連アワード2022にて優秀企画賞を受賞

このたび、公益社団法人映像文化製作者連盟主催の映文連アワード2022にて当社ブランドムービーが優秀企画賞を受賞しました。『夢を、一緒に』は派遣スタッフの目線で、労務管理者との日常のコミュニケーションの中から、絆が深まっていく様子を描いた映像作品です。当社YouTubeチャンネルにてご覧いただけます。是非ご視聴ください。



<https://www.youtube.com/watch?v=p3Yi6F3zi-4>

日総工業 ブランドムービー

検索